

# 西宮市平和資料館

入場無料

西宮市でも空襲があったことをご存知でしょうか。

昭和20(1945)年3月から8月にかけての空襲によって多くの方が亡くなりました。

西宮市平和資料館では、市民の方から寄贈していただいた戦争関係資料を展示しています。

戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、次の世代に語り継いでいくことが大切です。

皆様、ぜひご来場ください。



開館時間

午前10時～午後5時

休館日

月曜日、年末年始(12月29日～1月4日)

所在地

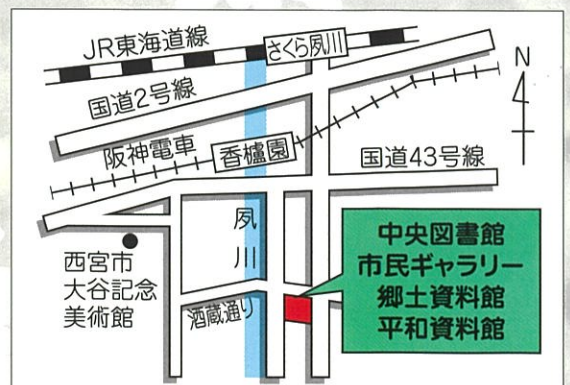
〒662-0944  
西宮市川添町15-26  
(西宮市教育文化センター1階)

アクセス

阪神香櫨園駅下車南へ徒歩6分  
JRさくら夙川駅下車南へ徒歩15分  
阪神バス・阪急バス川東町下車すぐ

電話

0798-33-2086



## 出征前・銃後の家族や郷里

戦争が長引けば長引くほど、たくさんの兵士が必要になります。徴兵する条件もどんどん改められ、まだ歳の若い男子にまで召集令状が届くようになりました。名誉なことと胸を張る者、行きたくない泣いた者、心中はさまざまであったでしょう。家族も一家を支えてくれるはずの男性を次々と送り出すことは、どんなに不安だったことでしょうか。しかし、人々は国や家、子どもたちを守るために、この困難を乗り越えなければなりませんでした。



召集令状通知



## 戦場の兵士

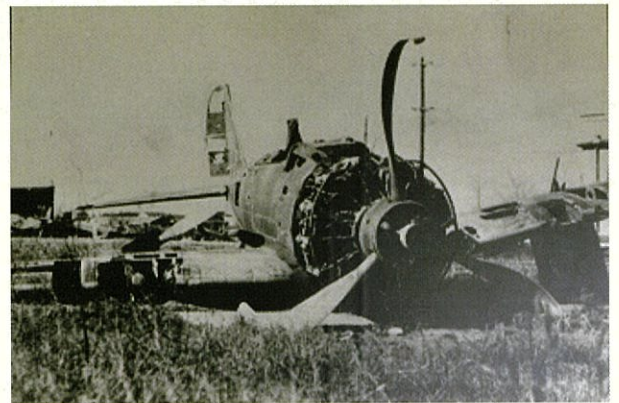
戦場の恐ろしさは、戦争を知らない者にはなかなか伝わりにくいものです。国を、家族を守るという使命感をもって戦いながら、いつ死ぬかわからない恐怖。たくさんの若者が起床から就寝までの行動を共にし、厳しい規律で管理された軍隊生活に耐えていました。その中で、千人針などのお守りや国から時折届く家族の写真や手紙が、どれほど心の支えになったことでしょうか。



行軍の様子

## 終 戦

広島や長崎への原爆投下、ソ連の参戦などを受け、日本政府はポツダム宣言を受諾し、約4年にわたる太平洋戦争は終結しました。しかし、食料不足やインフレ、シベリア抑留など、戦後も多くの課題が残りました。



ゼロ戦の残骸

開館年月日……平成14(2002)年12月12日

展示資料数……約80点(市ホームページでも所蔵資料の一部を公開しています。)

『文化・スポーツ・観光 ⇒ 平和への取組 ⇒ 平和資料館 ⇒ 平和資料館所蔵資料の紹介』

資料の寄贈……戦災資料の寄贈を希望される方は、人権平和推進課(0798-35-3473)へお問合せ下さい。

資料館内……①戦争への道程・開戦 ②出征前・銃後の家族や郷里 ③戦場の兵士 ④戦争の経過  
⑤空襲 ⑥終戦 ⑦未来へむけて の7つのテーマに沿った展示をしています。